

# 防災推進国民会議の 今後の活動方針（案）

---

令和3年12月23日  
防災推進国民会議決定

# 今後の活動方針 その1



2022年は、国民会議が発足する契機となった国連「仙台防災枠組2015-2030」の折り返し時期にあたることから、例年の活動に加えて、これまでの成果の振り返りを行う。

## 1. 全体会議

議員が属する団体・機関の防災に関する取組に関する情報共有や政府との共催事業の成果報告、意見交換を行うため、毎年少なくとも1回、全体会議を開催する。

## 2. 国民の防災意識向上等

国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業を行うとともに、議員が属する団体・機関が統一的に利活用できる分かりやすい一般国民向けの防災に関する普及啓発資料を作成する。

活動に当たっては、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえつつ、引き続きオンラインの活用も含め対応していく。

例)

- 2022年10月22日、23日に兵庫県神戸市において「防災推進国民大会2022」を開催
- 11月5日の「津波防災の日」「世界津波の日」を中心として津波防災の普及啓発活動を実施



## 3. 政府の事業等への協力

政府その他の防災関係機関が実施する、国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業、活動等について、事業等の共催、周知（告知）、参加など、可能な範囲で積極的に協力する。

例)

「防災週間」、「津波防災の日」、「ボランティア週間」、「地区防災計画セミナー」等における政府、その他の防災関係機関の活動への積極的な参画、下部団体や構成員等への周知

## 4. ウェブサイト「TEAM防災ジャパン」を通じた情報発信

内閣府の開設している防災に関する総合情報サイト「TEAM防災ジャパン」を通じて、議員が属する団体・組織の防災に関する取組について積極的に発信する。

## 5. 2015年以降の活動成果に係る情報発信

内閣府において、各団体・組織の協力を得て、国民の防災意識の醸成・向上に資する実践事例（グッドプラクティス）を収集し、国内外に発信する。



- 防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）は、産学官、NPO・市民団体や国民が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベント。  
（主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
- 7回目の開催となる2022年は、兵庫県で開催することを決定。近畿圏での開催は初めて。

## 開催場所

兵庫県 神戸市 HAT神戸を中心とするエリア

## 開催時期

2022年（令和4年）10月22日（土）・23日（日）

## 開催形式

オンライン併用のハイブリッド形式



人と防災未来センター  
（HAT神戸）

## 兵庫県で開催する意義

- 1995年の阪神・淡路大震災を契機として、自助・共助の重要性、そのための災害経験や教訓の伝承と共有、そして国民一人ひとりの日頃からの防災活動の実践の必要性が再認識された。
- 昨今のコロナ禍の中で、人々の集まりが制約され、これまでのような交流や知見共有の機会が減少する一方で、オンラインツールの普及により、全国の草の根の防災活動実践団体や市民が、空間の制約なく相互に交流することが可能となるなど、新たな可能性も生まれている。
- 折しも2022年は、国内随一の災害ミュージアム研究拠点「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」の開設20周年に当たることから、同センターをハブとして「ぼうさいこくたい」を開催し、オンラインツールも活用した、ポストコロナ時代における防災活動の新たな交流・知見共有のモデルを提示することを目指す。